

ポイント

◆◆特集◆◆

★日本橋の保存と管理について【日本橋架橋100周年】★

(国土交通省 東京国道事務所 調査課)

日本橋は、国の重要文化財として地元の人々や訪れる多くの人に愛され続け、技術的達成度を示す遺構として貴重なものとなった一方、一世紀近く歳月を経て石造り本体のひび割れ等の劣化損傷が見受けられる状況となっていた。

本年の日本橋100周年を“元気な日本橋”として迎えることを目指し、平成22年度に補修工事を実施したので、本稿にて紹介する。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★都市再生特別措置法の改正に伴う特例道路占用制度等について★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

都市再生特別措置法の改正に伴う道路法施行令の改正について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★京都市シェアード・スペース実証実験について★

(京都市シェアード・スペース検討協議会)

京都市では、平成22年度に都心部の細街路を対象として、歩行者と運転者が相互に配慮する意識を醸成させる空間デザインを施し、人と自動車が共存する空間を創り出すことにより、歩行者優先の安心・安全な細街路を実現するため、シェアード・スペース実証実験を実施しました。本稿では、実証実験の概要と成果を御紹介します。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★雲仙普賢岳噴火災害の伝承による防災力の向上★

(国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所 調査・品質確保課)

雲仙・普賢岳の噴火災害20年が経過した島原地域では、災害の経験や教訓が風化している兆候が懸念されています。しかし、今回の東日本大震災の例にあるように、地域に起こった過去の災害について学ぶことは、地域の防災力の向上を図る上で非常に重要です。

本稿では、雲仙・普賢岳の噴火災害を経験した地元住民主体の防災教育「安中防災塾」の取り組みを紹介します。

.....

★熊本県における道路維持管理について★
「穴ぼこ」等による道路管理瑕疵事故に対する改善策
(熊本県 土木部道路都市局 道路保全課)

熊本県では、安全安心な道づくりを目指すために、道路の維持管理における課題を解決するために、様々な取り組みを行っています。

今回は、これらの取り組みの中から、「穴ぼこ」等の道路損傷箇所による道路管理瑕疵事故に対する再発防止策について紹介します。

.....

★熊本市橋梁長寿命化修繕計画について★
(熊本市 都市建設局 土木部 土木総務課)

熊本市では、安全で快適な道路環境の確保のため、道路の維持管理についてさまざまな取り組みを行っています。そのうち道路橋に対して、限られた予算の中で計画的に維持管理を行うため、平成 21 年度、橋長 15m 以上の道路橋について橋梁の長寿命化修繕計画を策定しましたのでご紹介します。

◆◆取り組み紹介◆◆

★高速道路を活用した地域の活性化部会の報告概要★
～新道路利活用研究会～
(（財）道路新産業開発機構 調査部)

高速道路では、高速道路の IC 間隔の平均を欧米並み(約 5km)に改善することを念頭に、平成 30 年 3 月 31 日までに、全国で概ね 200 箇所のスマート IC を整備することを目標としています。

当部会では、今後の IC 整備が合理的かつ円滑に進められるよう、地方公共団体及び民間事業者の負担の可能性も含めた今後の整備費用負担方策や、地域間及び高速道路との連携による IC 活用方策とその整備効果などについて事例から検証し、高速道路を活用した地域の活性化方策についての検討を行いました。

◆◆編集後記◆◆

芹（せり）、薺（なずな）、御形（ごぎょう）、繁縷（はこべら）、仏の座（ほとけのざ）、菘（すずな）、蘿蔔（すずしろ）。

これは、ご存知のとおり、春の七草です。

春の七草は、七草粥として、人日（じんじつ）の節句である 1 月 7 日に食べる習慣があります。この七草粥を食べる習慣は、七草に象徴される青菜はビタミンが豊富で、消化促進効果もあることから、お正月のご馳走に疲れた胃腸をいたわる意味や、初春の野に芽吹いた若菜の生命力を食することによって邪気を払い、その年の無病息災を願うという意味があります。

さて、秋の七草はご存知でしょうか。春は「食べるもの」でしたが、秋は「鑑賞するもの」が七草にあげられています。その由来は、奈良時代の歌人：山上憶良によって詠まれ、万葉集に収められている和歌にあります。

■ 秋の野に 咲きたる花を 指折り（およびおり）

かき数ふれば 七種（ななくさ）の花

■ 萩（はぎ）の花 尾花（おばな） 葛花（くずはな） 撫子（なでしこ）の花

女郎花（おみなえし）また藤袴（ふじばかま） 朝顔（あさがお）の花

観賞用の植物は、食用にならないため実用性に乏しい感じがしますが、心を和ませるという得がたい効果を持ち、心を癒す効果があると思います。また、その花の咲く姿を目にすると、過去の情景が思い出され、懐かしい気持ちが心を満たしたりもします。いにしえの歌人も、そのような思いを馳せてこの和歌を詠んだのでしょうか。

道路沿道には、景観の向上や周辺環境保全等の役割を担う街路樹が植えられています。道路によっては、季節によって景観をがらりと変える街路樹が植えられており、その中のひとつとして、白木蓮（はくもくれん）を思い浮かべます。冬は枝木の様相を呈していますが、春になるといっせいに白い花が芽吹きます。沿道一杯に広がった白い花を咲かせる白木蓮を見ると、祖父とドライブに出かけた光景が甦り、どこか懐かしい気持ちになります。

道路行政セミナーで、地域の取組み事例として道路管理者の方々から多くご寄稿いただいているように、街路樹の維持管理はご苦労が多いことと思います。記事からは、工夫を施しながら、その景観の向上を図り、環境保全に努めている様子が感じとれます。

秋深まる今日この頃、銀杏の街路樹が鮮やかに色づく季節となってきました。落葉する街路樹の維持管理も、落ち葉の清掃等にご苦労が多いことと思いますが、その景観をみることで秋の訪れを感じることをとても楽しみにしています。(U)